

# 令和4年定例会 医療保健子ども福祉病院常任委員会

## 説明資料

### 《所管事項説明》

- |   |   |    |
|---|---|----|
| 1 | 「令和4年版県政レポート（案）」について                              | 別冊 |
| 2 | 「『強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）』及び『みえ元気プラン（仮称）』概要案に対する意見」への回答 | 1  |
| 3 | 「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」及び「みえ元気プラン（仮称）」最終案について         | 別冊 |
| 4 | 新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について                           | 3  |
| 5 | 各種審議会等の審議状況の報告について                                | 19 |

### （別冊）

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 令和4年度版県政レポート（案）《医療保健部抜粋版》                                  |
| 2 | （参考資料）令和4年度取組概要（施策別）《医療保健部抜粋版》                             |
| 3 | みえ元気プラン（最終案）《医療保健部抜粋版》                                     |
| 4 | 「強じんな美し国ビジョンみえ」「みえ元気プラン」（最終案）<br>別冊資料編 K P I 一覧 《医療保健部抜粋版》 |

令和4年6月20日  
医療保健部

2 「『強じんな美し国ビジョンみえ(仮称)』及び『みえ元気プラン(仮称)』概要案に対する意見」への回答(医療保健部関係分)

医療保健子ども福祉病院常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見	回答案
2-1	地域医療提供体制の確保	医療保健部	<p>訪問看護のさらなる充実を図るため、看護師の資質向上に取り組まれない。</p>	<p>訪問看護の充実を図るため、訪問看護師が医療機関で行われている最新の医療処置や看護ケアに関する知識や技術を身に付けるための研修や、訪問看護ステーション管理者が経営力の向上等を図るための研修の実施等、訪問看護師の資質向上に取り組んでいきます。また、新任訪問看護師の就労支援にも取り組んでいきます。</p>
			<p>県立病院の取組方向については、それぞれの病院が求められる役割を果たすための取組についても記載されたい。</p>	<p>県立病院に求められる役割を果たすため、こころの医療センターにおいては政策的医療や専門的医療の提供のほか地域生活支援など県内の精神科医療の中核病院としての取組を、一志病院においてはプライマリ・ケアの実践や人材育成の取組を、志摩病院においては指定管理者と連携した地域の中核病院として取組をそれぞれ進めていく旨を記載します。</p>
			<p>地域により取り巻く環境も異なることから、今般の新型コロナウイルス感染症への対応もふまえ、国や市町などさまざまな主体と十分に協議を行い、地域の実情に応じた医療提供体制の構築に取り組まれない。</p>	<p>今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一般医療を含む医療提供体制に多大な影響が生じたことや、第8次医療計画(令和6年度から令和11年度まで)の記載事項に「新興感染症等の感染拡大時における医療」が追加されることをふまえると、感染症への対応も含め、地域で必要とされる医療を提供できるよう、医療機関の機能分化や連携をさらに進めていく必要があると認識しています。</p> <p>本県では、これまでの地域医療構想の議論においても、地域の実情をふまえた丁寧な議論を行ってきたところであり、引き続き、国や市町などのさまざまな主体との協議や地域医療構想調整会議を通じた協議をしっかりと行いながら、感染症への対応の視点も含めて、地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築に取り組んでいきます。</p>

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見	回答案
2-2	感染症対策の推進	医療保健部	新型コロナウイルス感染症への対応での課題もふまえ、感染症対策で大きな役割を果たしている保健所の機能充実・強化に取り組まれない。	新型コロナウイルス感染症への対策での課題をふまえ、保健所の体制強化は必要であると考えており、県内各保健所がその機能を十分発揮することができるよう、人員確保・体制強化に取り組みます。
2-3	介護の基盤整備と人材確保	医療保健部	介護人材の確保について、離職防止や定着促進のためには職員の処遇改善も含んだ職場環境の改善が重要であることから、県としても引き続き事業者の支援に取り組まれない。	介護人材の確保のためには、職員の処遇改善も含んだ職場環境改善が必要と認識しています。介護職員の処遇改善については、従来より介護報酬の加算で措置されており、事業者が処遇改善加算を算定するには、職員の賃金改善を行うとともに、心身の健康管理など職場環境の改善が要件となっています。令和4年2月からはベースアップを主たる目的とする介護職員処遇改善支援補助金が創設され充実が図られました。 また、県では、「介護助手」の普及、介護職員の負担軽減につながる介護ロボットや、介護記録から報酬請求業務までの一連の業務の効率化につながるICT機器の導入促進などに取り組んでいます。 県としては、職場環境改善に取り組む事業者を引き続き支援していきます。

## 4 新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について

### 1 社会的検査等の実施状況

- ・社会的検査について、感染者の早期発見および感染拡大の未然防止を図るため、高齢者施設や障害福祉施設(入所系・通所系・訪問系)、小学校、保育所等の従事者を対象に6月30日まで実施しています。(検査件数:274,426件(2,032施設)、陽性確定:430件(302施設)(陽性率:0.16%)(6月8日現在))
- ・感染状況等をふまえ、感染に不安のある県民を対象とした一般検査事業および飲食、イベント、旅行・帰省等の社会経済活動を行うに当たり検査が必要である方を対象としたワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業を6月30日まで実施しています。(登録検査実施場所:196ヶ所(6月9日現在)、検査件数:48,567件、陽性判明:1,288件(陽性率:2.7%)(6月5日現在))

### 2 ワクチン接種体制の整備

- ・3回目接種について、6月13日時点で65歳以上の接種率は90.1%(全国平均89.5%)、全人口の接種率は60.7%(全国平均60.3%)となっています。
- ・4回目接種について、国から接種体制等に関する方針が示され、県内市町においても、5月末から順次接種券の発送、ワクチン接種が始まっています。今後さらなる円滑な接種促進に向けて、引き続き市町を支援します。
- ・武田社ワクチン(ノババックス)が新たに承認されたことから、県が開設する三重県新型コロナワクチン接種センターにおいて、6月13日から接種を開始するとともに、予約状況をふまえ接種日程を追加したところです。また、松阪地区の1市3町において接種が進められており、他の一部市町においても準備が進められています。

### 3 医療提供体制等の整備

#### (1) 患者受入病床の確保と活用

- ・受入病床については、5月13日から通常の体制である463床で対応しており、入院が必要な患者を確実に受け入れています。

#### (2) 宿泊療養施設・臨時応急処置施設の確保

- ・宿泊療養施設については、5施設682室を稼働させていますが、今後の感染状況に応じた体制について検討していきます。
- ・感染拡大に伴い医療体制がひっ迫した際に、患者を一時的に受け入れ、酸素投与等の一定の医療的な処置を行う臨時応急処置施設については、引き続き、感染が拡大した際に速やかに稼働できるよう、当面の間、2施設(津市、四日市市)を確保しています。

### (3) 自宅療養者等へのフォローアップ

- ・自宅療養者等に対する医療提供体制については、治療に関与する医療機関が423、薬局が452、訪問看護事業所が74となっています。医師会等の協力のもと、オンライン診療、電話診療、往診等により必要な医療を提供するとともに、県としても医療機関等に対して協力金制度を運用しています。
- ・経口抗ウイルス薬「ラゲブリオ」については、処方できる医療機関が県内で433となっているほか、高齢者施設等においても投与が可能となっています。また、「パキロビッド®パック」については、処方できる医療機関は県内で53となっています。

## 4 感染拡大防止対策

- ・5月23日に政府基本的対処方針が変更されたことをふまえ、6月1日に「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』ver.15」を一部改訂し、場面に応じたマスク着用等について整理しました。
- ・今後の感染症対策をより効果的なものとするため、第6波におけるこれまでの対策について、評価すべき点や課題の抽出を行い、公表に向けて検討をすすめています。

## 5 高齢者施設等の感染防止対策

- ・高齢者施設等では、依然としてクラスターの発生が継続している状況をふまえ、施設等において陽性者が発生した場合に、感染制御チームの派遣や医療提供が速やかに行えるよう支援体制の充実を図っています。
- ・感染制御について、新たに看護師等の専門人材を配置した専用相談窓口を6月13日に開設し、施設等からの連絡・相談等に手厚く対応するとともに、感染制御等を支援するチームを迅速に派遣する体制の充実を図っています。
- ・医療提供支援について、医師や看護師による施設への往診・派遣等が速やかに行われるよう、協力医療機関（108機関（6月7日現在））を確保し、医療提供の体制整備を図っています。

## 6 「新型コロナウイルスに感染された方に対するアンケート調査」の分析結果

- ・療養期間終了後の罹患後症状（いわゆる後遺症）等について実施（令和3年11月～12月）したアンケート調査について分析を行いました。（詳細は別紙のとおり）
- ・罹患後症状があると回答した方の中で約半数は、何らかの症状が2か月を超えて継続し、10代以下と20代でその割合が高い傾向があるとともに、入院歴のある方は「全身倦怠感」や「睡眠障害」、「記憶力の低下」があると回答する割合が高い傾向にありました。  
また、基礎疾患がある方、ワクチン未接種の方のほうが、罹患後症状があると回答する割合が高い傾向にありました。
- ・感染後に不安等を感じた方は約9割おり、内容は、自分の体調に関することが最も多く、相談先としては「家族や友人」が約8割、「相談先なし」が1割強でした。  
また、入院歴のある方は、そうでない方に比べ、不安等を感じている割合が2倍以上多いことも分かりました。

## 新型コロナウイルス感染症患者に対するアンケート調査

本県における新型コロナウイルス感染症患者は、令和2年1月以来、令和4年5月末で8万人を超える人数となっている。残念ながら300人を超える方々が亡くなられたが、多くの方々は回復をされ、それぞれの生活に戻っている。

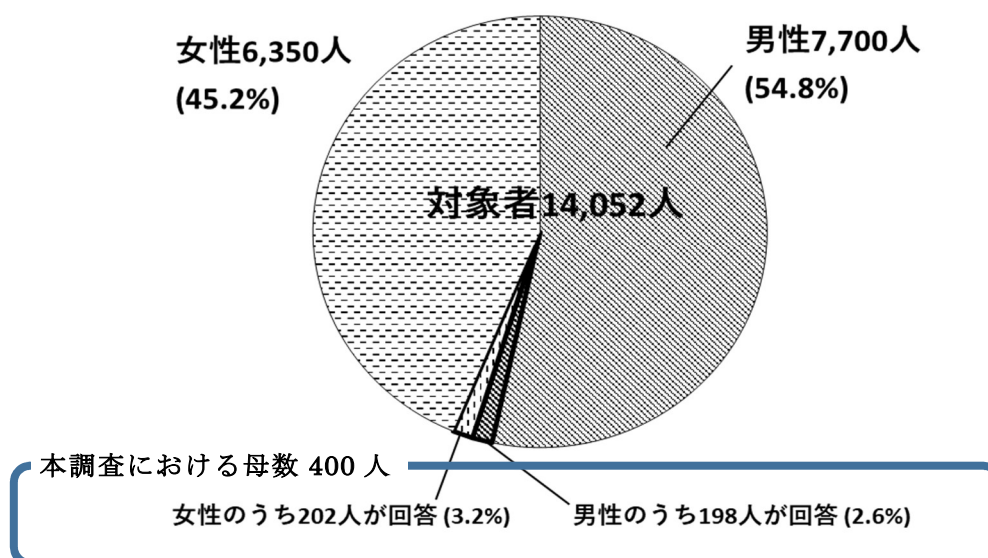
そうした中、治療が終わった後も何らかの症状が継続したり、何らかの不安を感じるといった声がある。こうした新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状、いわゆる「後遺症」と呼ばれるものについては、いまだ明らかになっていない点も多いものの、国内外のさまざまな調査・研究により、徐々に医学的な解明が進んでいるところである。

本県はこれまで治療が終わった方々に対してアンケートを行い、後遺症や不安に感じることの有無を調査してきた。

ここでは令和3年11月から12月にかけて行ったアンケート調査について分析・整理を行い、その実態の把握を行った。

- 1 調査対象 令和2年11月から令和3年9月までに報告された感染者14,052人（うち2名は性別不明）のうち無作為抽出された3,000人にアンケートを送付。  
回答のあった400人（男性198人、女性202人）を母数とする。

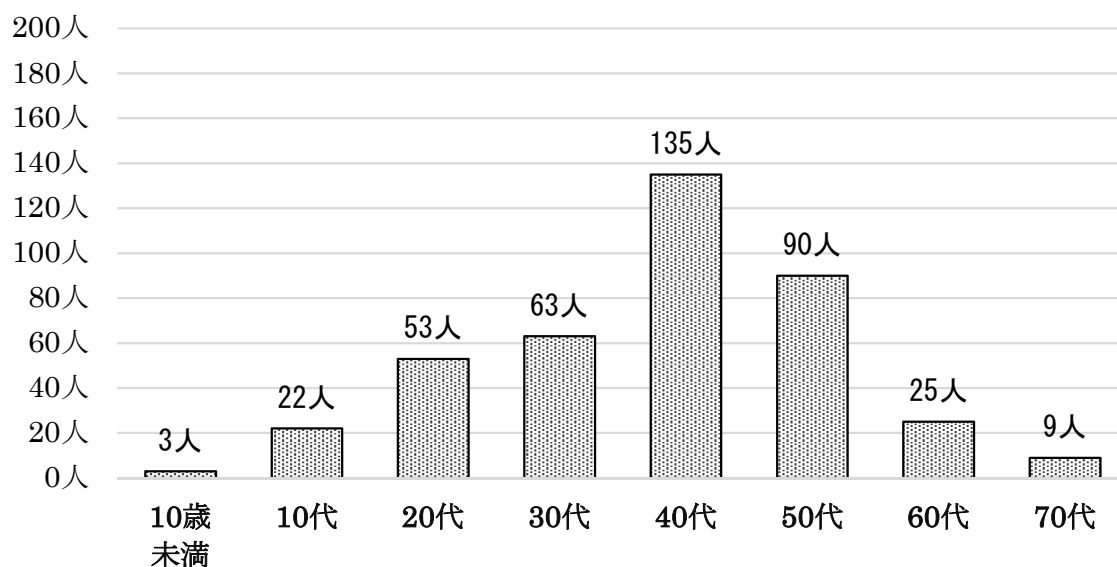
新型コロナウイルス感染後のアンケート調査の回答者について



## 2 回答者について

### (1) 年代別

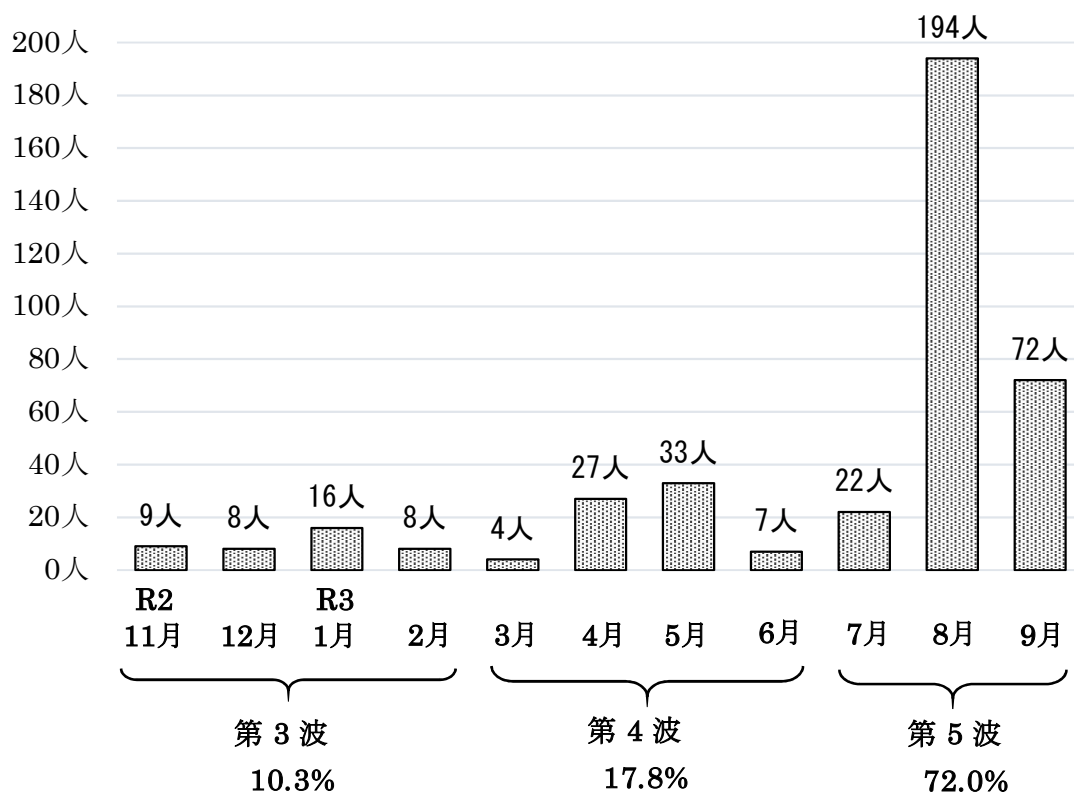
40代及び50代の方の割合が高い。



### (2) 陽性判明時別

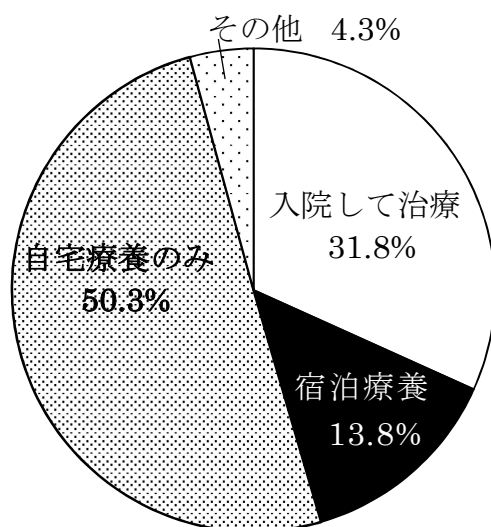
令和3年7月～9月に陽性が判明した方が72%。

いわゆる「第5波」の患者が多い。



### (3) 治療場所

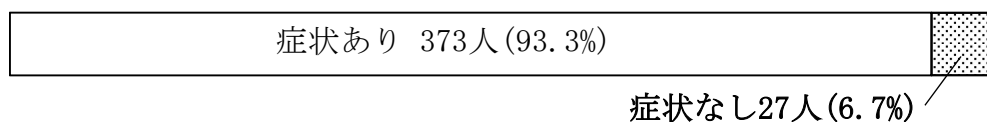
治療を行った場所については、50.3%が自宅療養、31.8%が病院に入院、13.8%が県の用意したホテルで宿泊療養となっている。



## 2 感染中の症状について

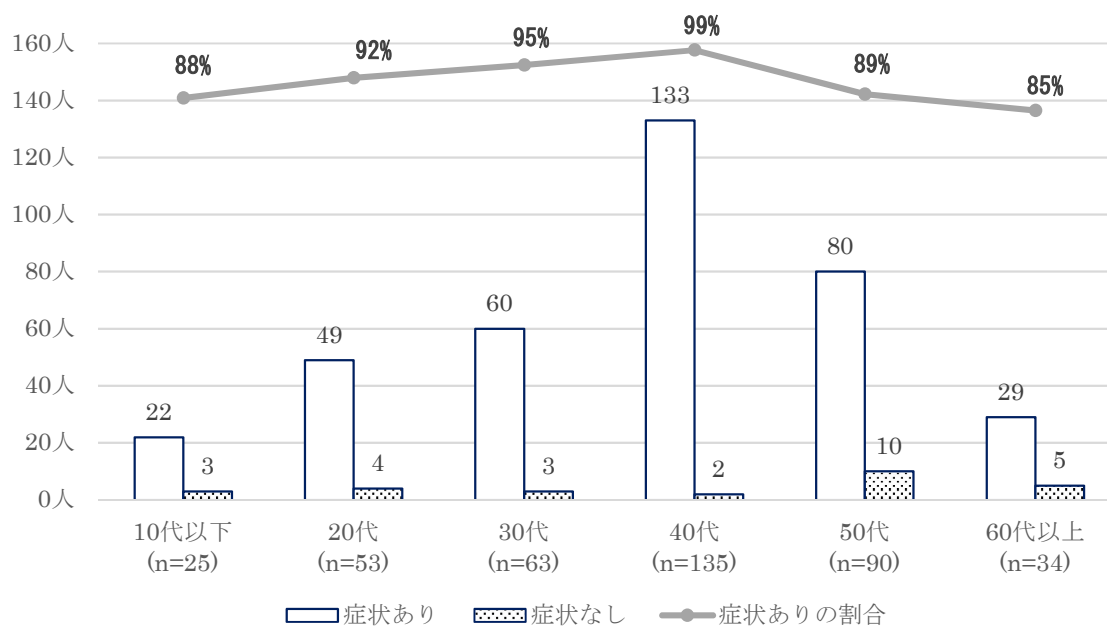
### (1) 感染中の症状の有無

回答者 400 人のうち、373 人 (93.3%) の方が感染中に何らかの症状があったと答えた。



### (2) 有症状者の年代別状況

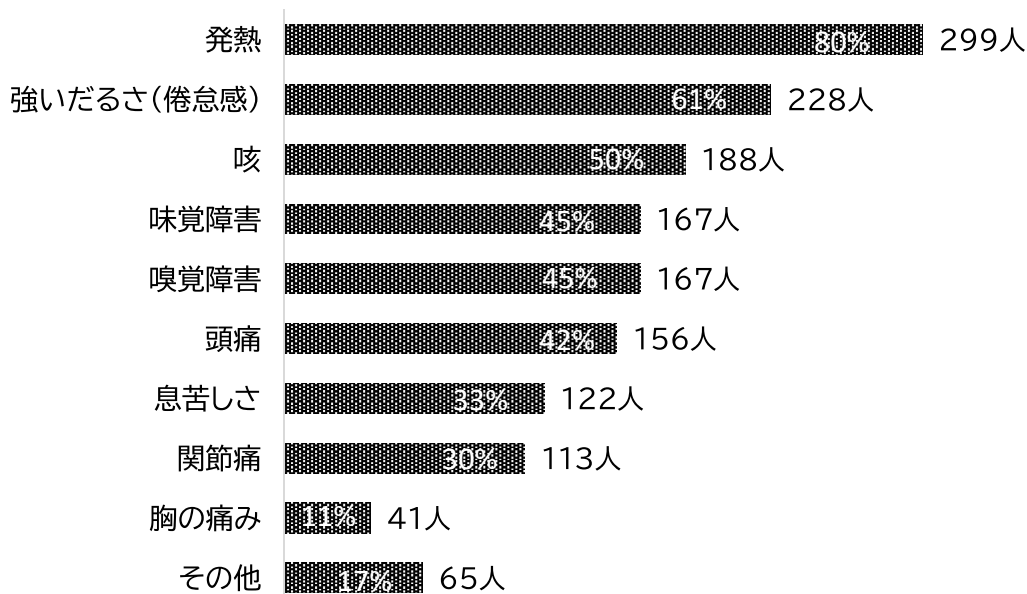
各年代とも概ね 90%以上が有症状となっているが、40代は 99%の有症状となっている。





### (3) 症状の状況

有症状者 373 人中、最も多かった症状は「発熱」(299 人、80%) であった。次いで、「強いだるさ(倦怠感)」、「咳」、「味覚障害」、「嗅覚障害」となっている。

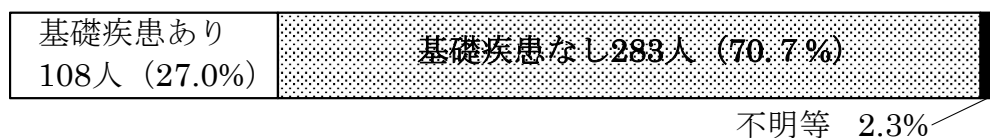


※その他：下痢、咽頭痛、鼻水、鼻づまり等

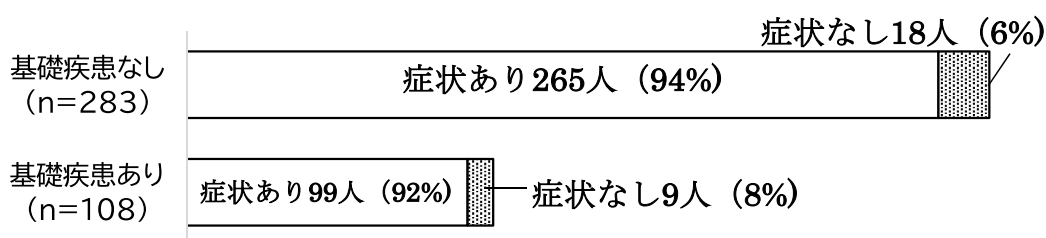
※表中「%」は、有症状者(373人)に占める割合

### (4) 基礎疾患の有無と症状の有無の関連

回答者 400 人のうち、283 人 (70.7%) は基礎疾患等 (喫煙習慣、肥満、糖尿病、呼吸器疾患、心疾患、がん等) を有していないと答え、108 人 (27%) は、基礎疾患があると答えた。

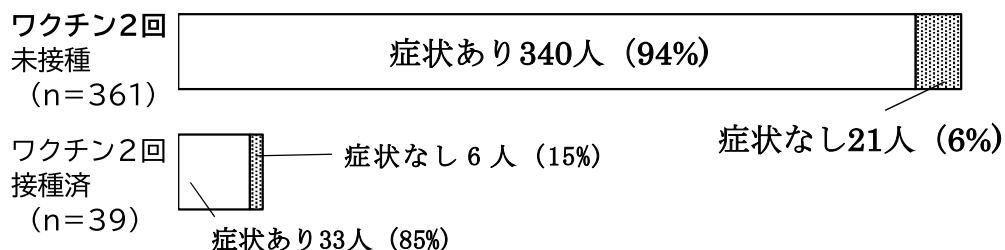


基礎疾患の有無と症状の有無の関連を見ると、それぞれに 90%以上が症状ありと回答しており、その割合に大きな差はみられない。



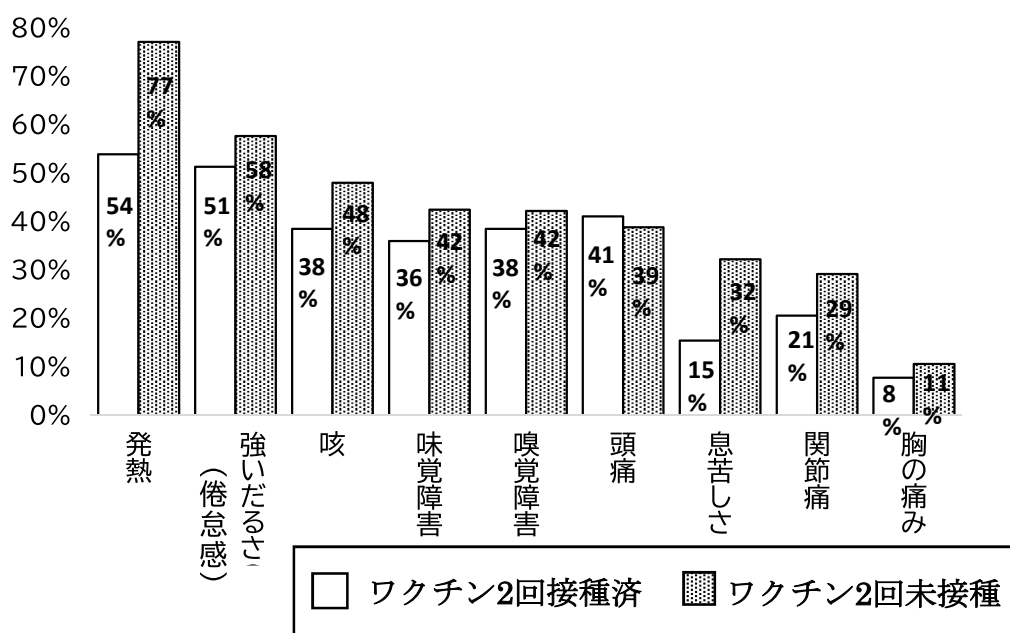
### (5) ワクチン2回接種と症状の有無の関連

回答者400人のうち、感染前にワクチン2回接種していた方は39人(10%)であり、その他361人(90%)は未接種であった。  
 ワクチン2回接種者に占める有症状者の割合(85%)は、未接種者に比べて低く、基礎疾患の有無の関連とは違いがみられる。



### (6) ワクチン2回接種者と未接種者の症状の発現割合の違い

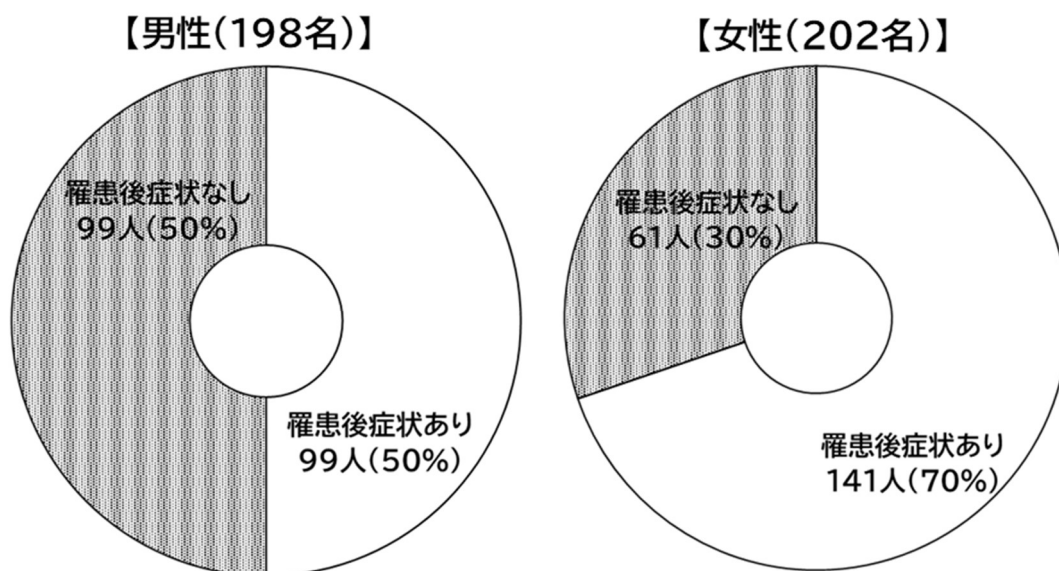
ワクチン2回接種者は、ワクチン2回未接種者に比べて症状の発現割合がおおむね低い傾向にある。特に「発熱」や「息苦しさ」についての差が顕著にみられる。



### 3 退院後・療養終了後の罹患後症状の有無

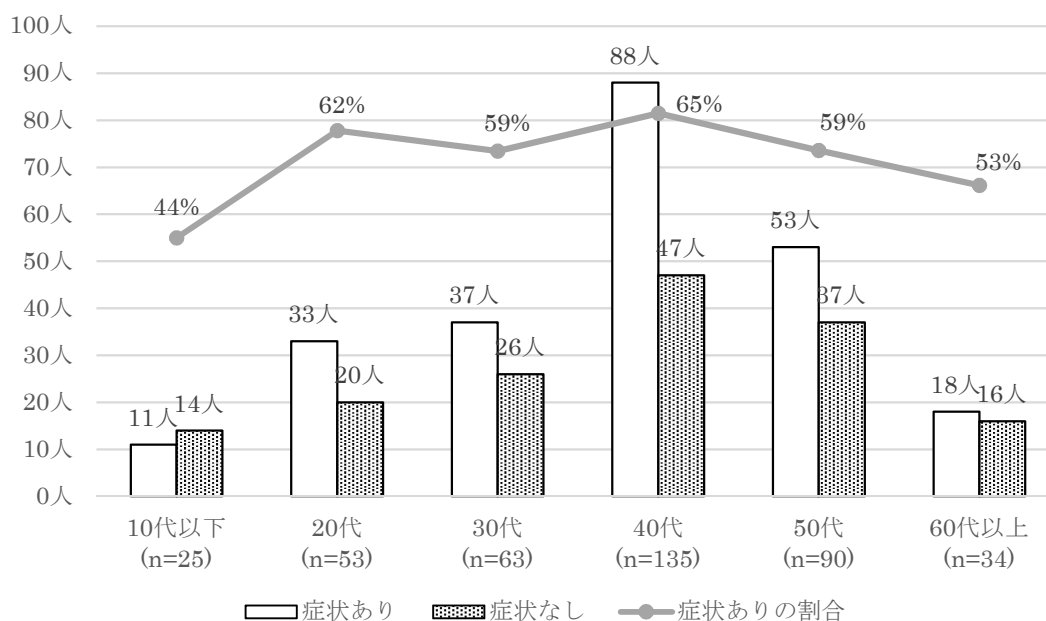
#### (1) 罹患後症状の有無

回答者 400 人のうち、退院後・療養終了後に新型コロナウイルス感染症によるものと思われる症状(罹患後症状)があると答えた方は 240 人(60%)。男性回答者と女性回答者それぞれの罹患後症状があると答えた割合は、男性が 198 人中 99 人(50%)、女性が 202 人中 141 人(70%)と大きく違いが出た。



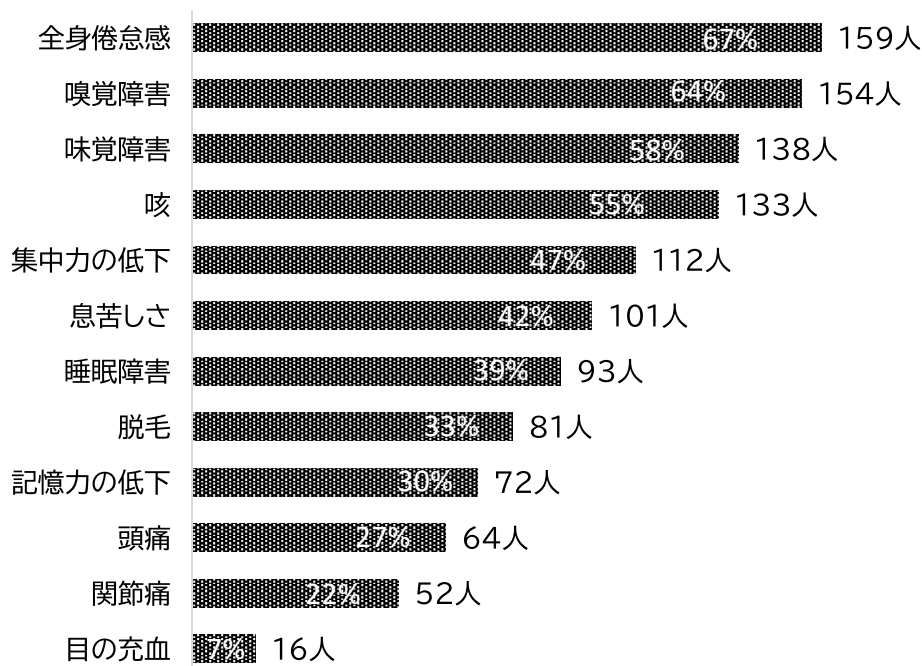
#### (2) 罹患後有症状者の年代別状況

年代別における罹患後有症状者の割合は 10 代以下が 44%と最も低い。その他の年代の罹患後有症状者の割合は 50%を超えている。



### (3) 罹患後に見られた症状

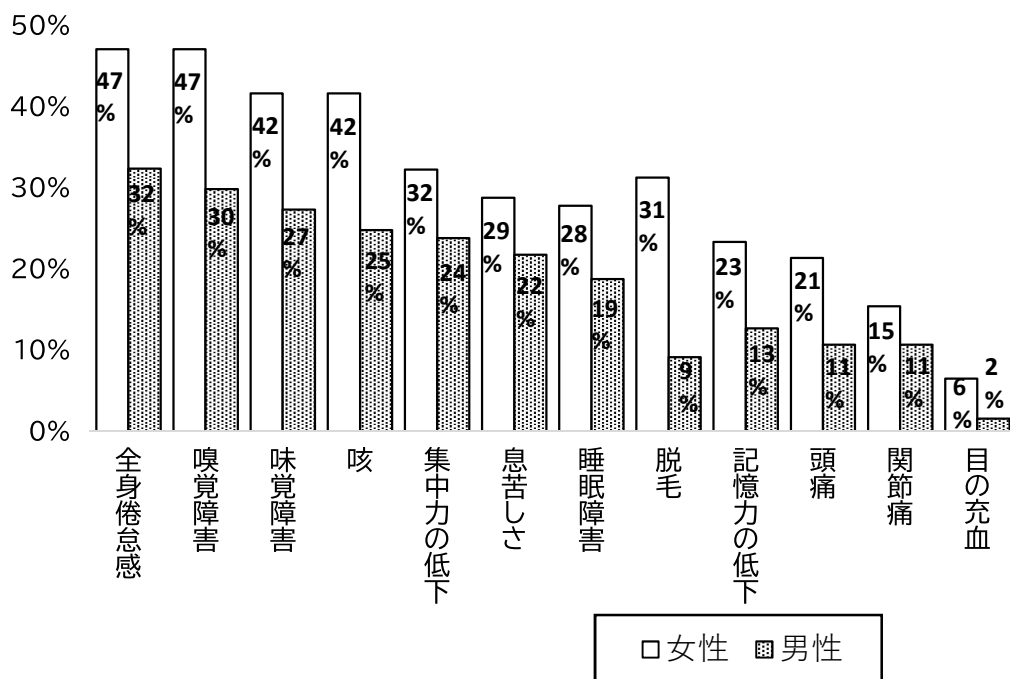
罹患後有症状者 240 人中、最も多かった症状は「全身倦怠感」(159 人、80%) であった。次いで、「嗅覚障害」、「味覚障害」、「咳」となっている。



※表中「%」は、罹患後有症状者(240人)に占める割合

### (4) 性別による罹患後症状の発現割合の違い

女性は男性に比べて各症状の発現割合が高い傾向にあり、特に「嗅覚障害」や「咳」、「脱毛」についての差が顕著にみられる。



(5) 年代別の罹患後症状の発現割合の違い

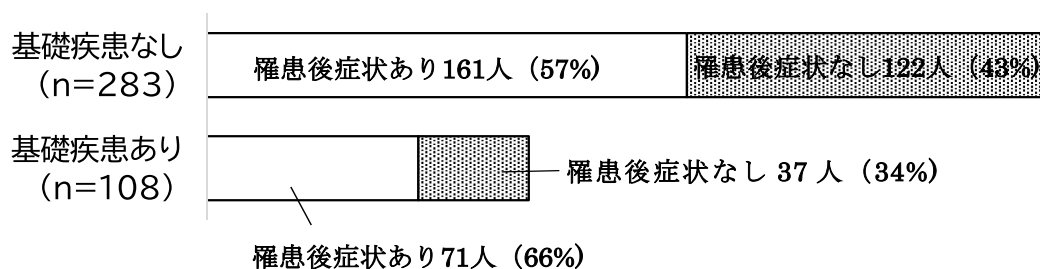
40代以上では「全身倦怠感」の割合が最も高く、30代以下では「嗅覚障害」の割合が最も高くなっている。

	全身倦怠感	嗅覚障害	味覚障害	咳	集中力の低下	息苦しさ	睡眠障害	脱毛	記憶力の低下	頭痛	関節痛	目の充血
20歳未満	5 20%	9 36%	9 36%	4 16%	4 16%	0 0%	1 4%	1 4%	0 0%	2 8%	3 12%	0 0%
20代	16 30%	26 49%	24 45%	19 36%	11 21%	13 25%	10 19%	10 19%	9 17%	13 25%	8 15%	1 2%
30代	28 44%	30 48%	28 44%	25 40%	22 35%	19 30%	18 29%	19 30%	20 32%	14 22%	11 17%	5 8%
40代	61 45%	56 41%	50 37%	45 33%	44 33%	33 24%	34 25%	33 24%	25 19%	18 13%	15 11%	6 4%
50代	37 41%	24 27%	20 22%	28 31%	23 26%	27 30%	23 26%	13 14%	15 17%	13 14%	14 16%	3 3%
60代以上	12 35%	9 26%	7 21%	12 35%	8 24%	9 26%	7 21%	5 15%	3 9%	4 12%	1 3%	1 3%
合計	159 40%	154 39%	138 35%	133 33%	112 28%	101 25%	93 23%	81 20%	72 18%	64 16%	52 13%	16 4%

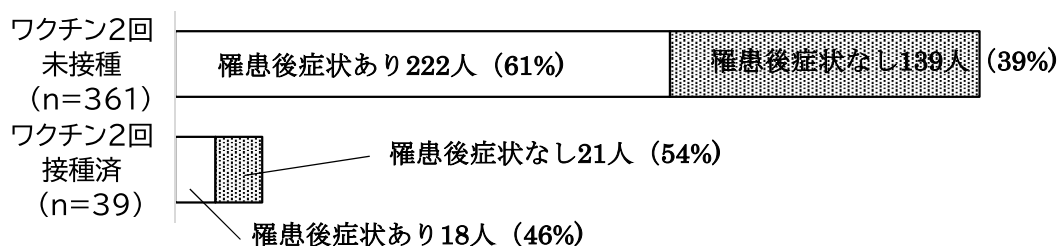
※表の上段は人数、下段は罹患後有症状者(240人)に占める割合

(6) 基礎疾患・ワクチン2回接種歴と罹患後症状の有無の関連

基礎疾患がないと答えた方より基礎疾患があると答えた方のほうが、罹患後に症状があると回答する割合が高い。

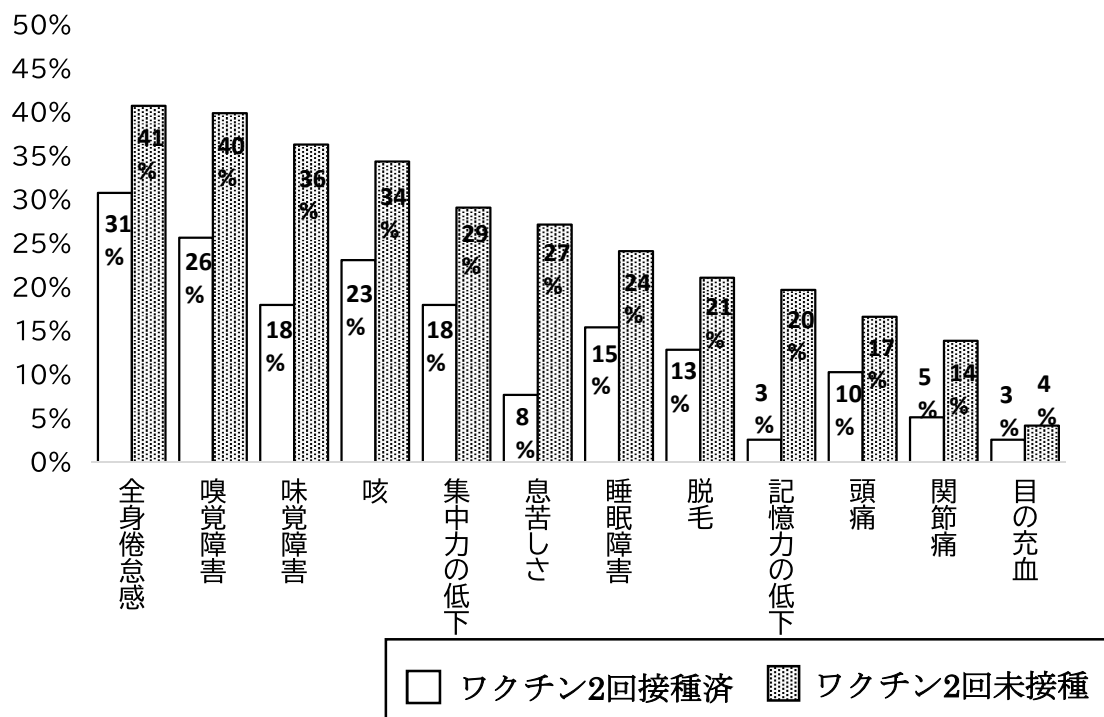


ワクチン2回接種済みの方より未接種の方のほうが、罹患後症状があると回答する割合が高い。



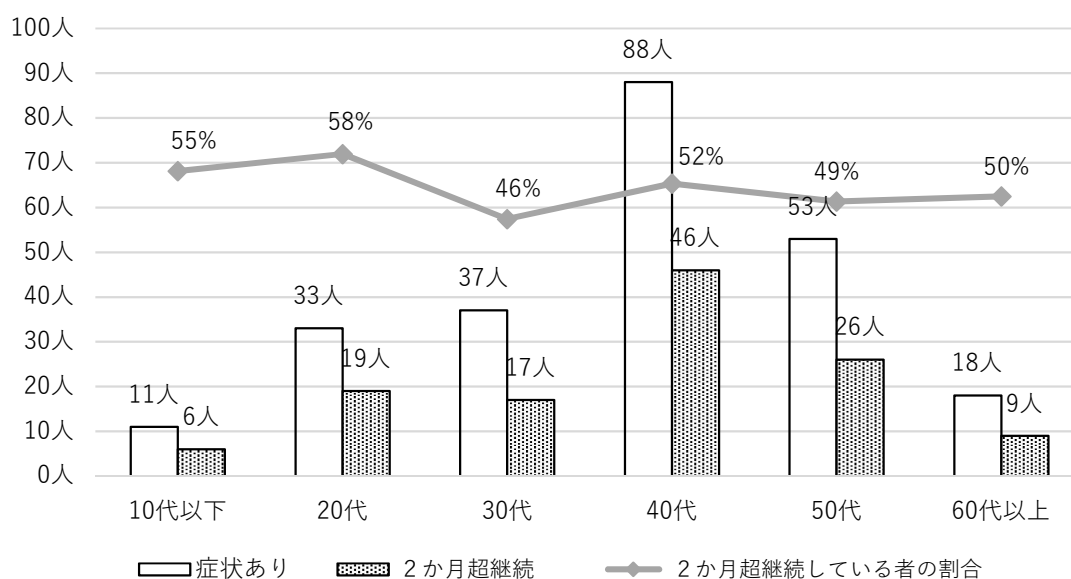
### (7) ワクチン2回接種者と未接種者の罹患後症状の発現割合の違い

ワクチン2回接種者はワクチン2回未接種者に比べて各症状の発現割合が低く、特に「味覚障害」や「息苦しさ」、「記憶力の低下」についてその傾向が強い。



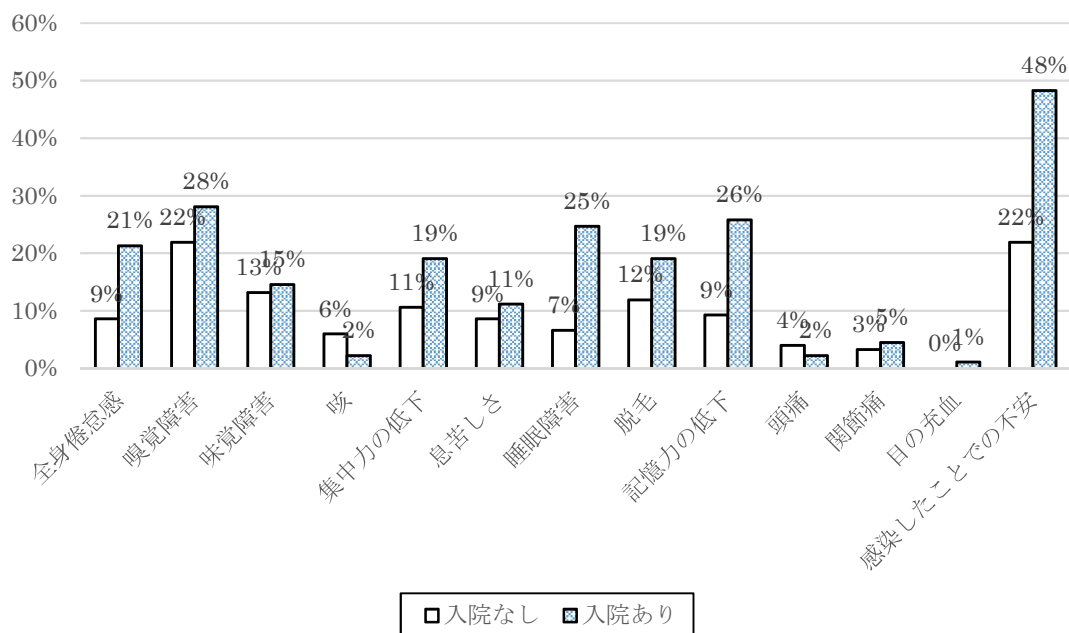
### (8) 年代別の罹患後症状の継続期間

罹患後有症状者240人中、何らかの症状が2か月を超えて継続したと回答した方は123人(51%)であり、20代と10代以下でその割合が高くなっている。



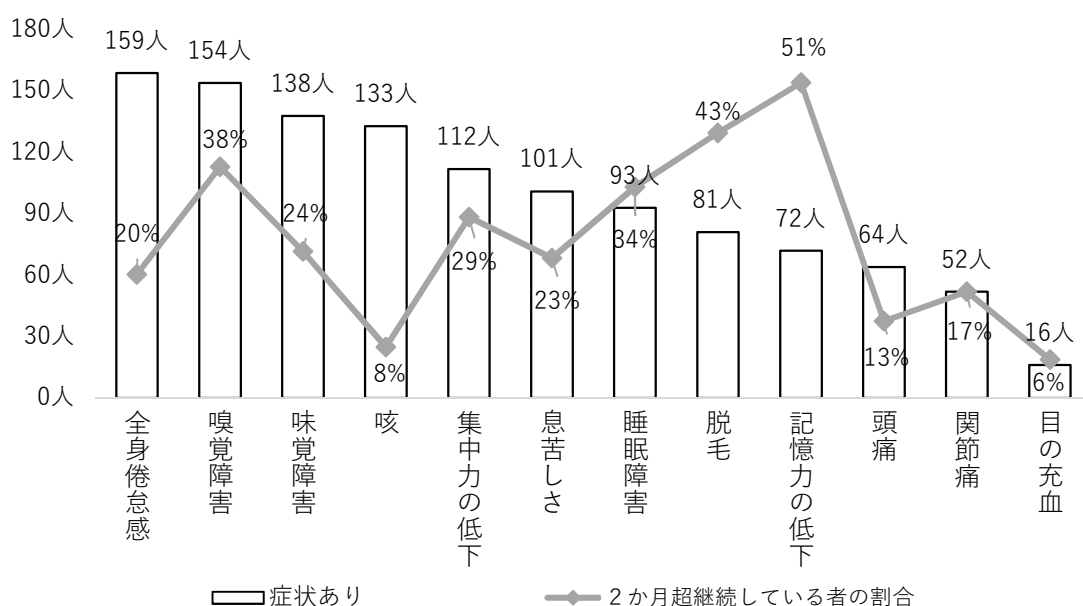
### (9) 罹患後有症状者における症状継続の割合

罹患後有症状者 240 人中、入院の有無別に 2 か月を超える症状継続の割合を比較したところ、「全身倦怠感」「睡眠障害」「記憶力の低下」「感染したことでの不安」については、入院歴のある方からの回答の割合が明らかに高くなっている。



### (10) 罹患後症状別の継続期間

「嗅覚障害」、「脱毛」及び「記憶力の低下」は、症状が 2 か月を超えて継続している割合が高い。

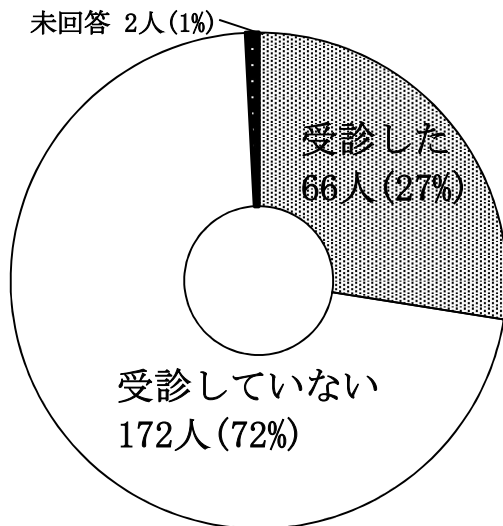


### (11) 罹患後有症状者の医療機関受診状況

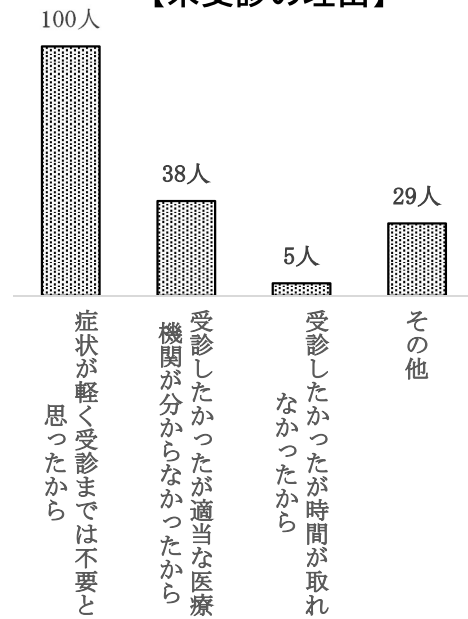
「罹患後症状あり」と回答した 240 人中、医療機関を受診した方は 66 人 (27%)、受診していない方は 172 人 (72%)。

受診していない理由で最も多いのは、「症状が軽く受診までは不要と思ったから」が 100 人、次いで「受診したかったが適切な医療機関が分からなかったから」が 38 人となっている。

【医療機関への受診状況】



【未受診の理由】



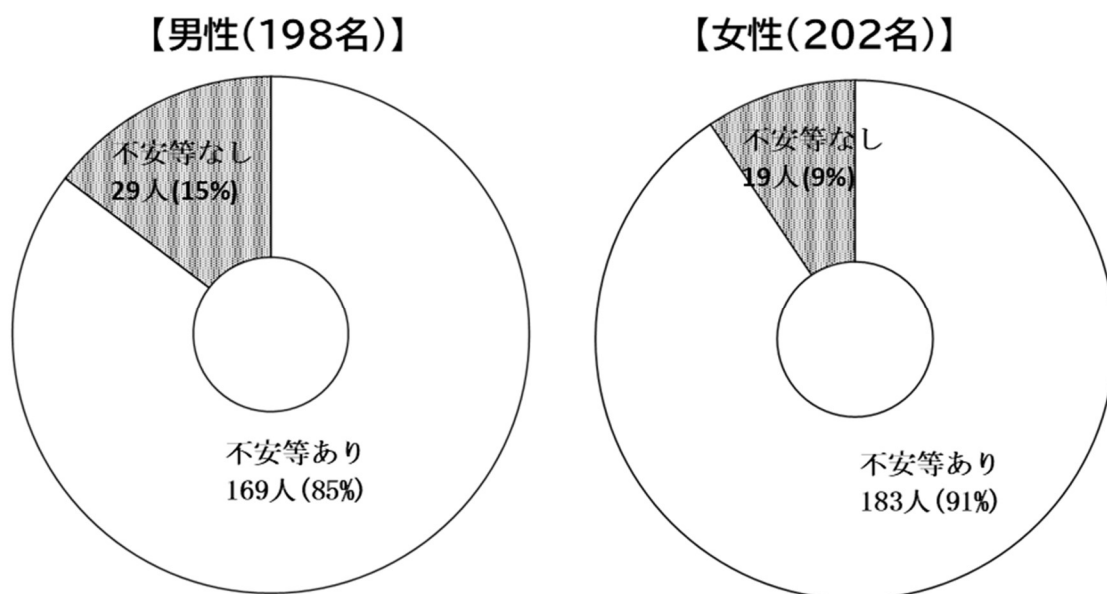


#### 4 新型コロナウイルス罹患後に不安に感じたこと、困ったことについて

##### (1) 不安等の有無

回答者 400 人のうち、新型コロナウイルスに感染して、不安に感じたことや困ったこと（不安等）があると回答した方は 352 人（88%）。

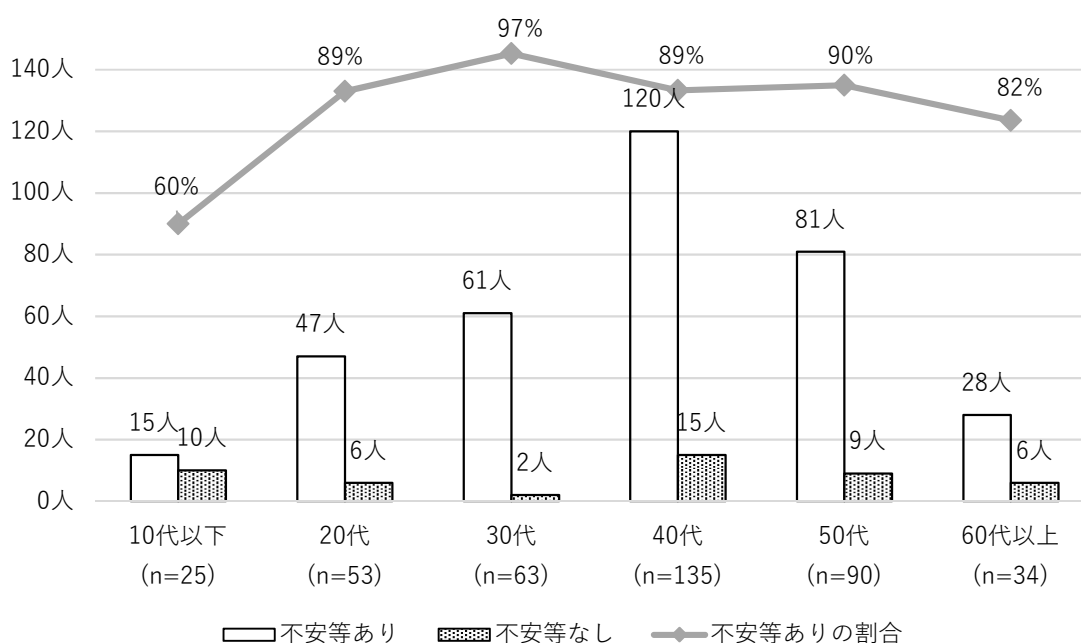
男性回答者と女性回答者それぞれの不安等があると答えた割合は、男性が 198 人中 169 人（85%）、女性が 202 人中 183 人（91%）と女性に高い傾向がみられた。



##### (2) 罹患後に不安等を感じた方の年代別状況

年代別における罹患後に不安等を感じた方の割合は、30代で97%と最も高く、10代以下は60%と最も低くなっている。

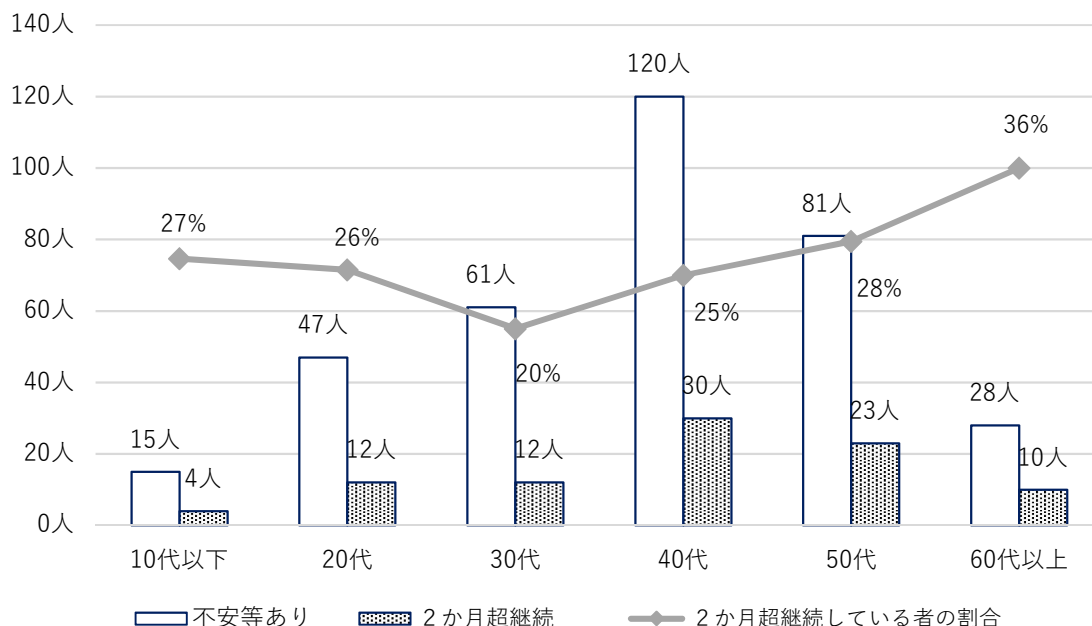
その他の年代では、80%以上の方が罹患後に不安等を感じている。



### (3) 不安等が継続した期間の年代別状況

不安等を感じた方 352 人のうち、その状態が 2 か月を超えて継続しているとされた方は 91 人 (26%)。

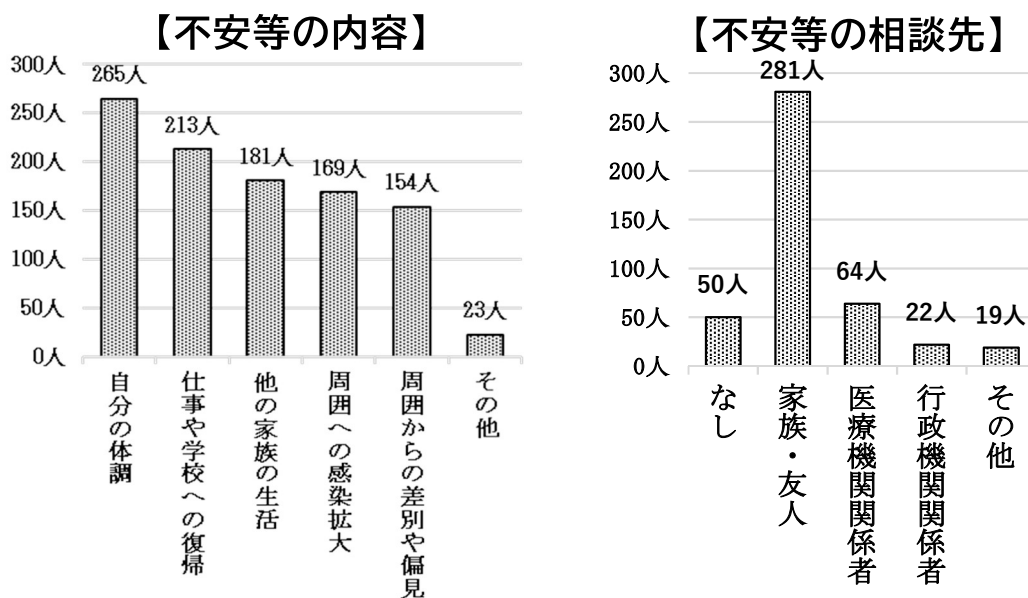
年齢が高いほど継続していると答える割合が高く、60 代以上は 36% となっている。



### (4) 不安等の内容と相談先

不安等を感じた方 352 人のうち、「自分の体調」を挙げる方が最も多く 265 人 (75%) であり、次に「仕事や学校への復帰」を挙げる方が 213 人 (61%) となった。

不安等の相談先は「家族・友人」を挙げる方が最も多く、281 人 (80%) であるが、「相談先なし」とされた方も 50 人 (14%) あった。



## 5 調査結果のまとめ

本調査の前提として、調査対象がいわゆる「第5波」までの新型コロナウイルス感染症患者 14,052 人のうち、抽出され、さらに回答を行った 400 人を母数とした統計であることから、その感染中の状況や罹患後症状、および不安に感じたこと等に関する全体像を把握できるほどの規模ではないことに留意すべきである。

- (1) 感染中の症状については、基礎疾患の有無による症状の回答割合には大きな差異はみられなかった。一方で、ワクチン2回接種者については、ワクチン2回未接種者に比べて症状の回答割合は低い傾向がみられた。
- (2) 罹患後症状として最も多く見られたのは「全身倦怠感」であり、次いで「嗅覚障害」、「味覚障害」、「咳」と続く。罹患後症状は女性に多い傾向があり、各症状の回答割合は男性に比べて概ね高い。特に「嗅覚障害」や「咳」、「脱毛」等の症状にその傾向が顕著である。  
年代別には「全身倦怠感」については、年齢が高い方の回答が多く、「嗅覚障害」や「味覚障害」については、年齢が低い方の回答が多い傾向があった。  
また、基礎疾患がある方、ワクチン未接種の方のほうが、罹患後症状があると回答する割合が高かった。
- (3) 罹患後症状があると回答した方のうち約半数は、何らかの症状が2か月を超えて継続しており、10代以下と20代でその割合が高い傾向があるとともに、入院歴のある方は、「全身倦怠感」「睡眠障害」「記憶力の低下」があると回答する割合が高かった。  
また、罹患後症状がある方の約7割は、「症状が軽い」や「受診先が分からない」等の理由により医療機関を受診していなかった。
- (4) 感染後に不安等を感じた方は約9割おり、内容は自分の体調に関することが最も多く、相談先として「家族や友人」と回答した方が約8割、「相談先なし」と回答した方が1割強であった。  
また、入院歴のある方は、そうでない方と比べて、不安等を感じている割合が2倍以上多かった。

【所管事項説明】

5 各種審議会等の審議状況の報告について  
(令和4年2月17日～令和4年6月2日)

(医療保健部)

1 審議会等の名称	三重県医療審議会医療法人部会
2 開催年月日	令和4年2月17日
3 委員	部会長 二井 栄 委員 伊藤 正明 他3名
4 諮問事項	1 医療法第46条の6第1項ただし書の規定による医師又は歯科医師でない者の理事長選出認可基準の制定について 2 医療法人の設立等認可申請事案について
5 調査審議結果	1 医療法第46条の6第1項ただし書の規定による医師又は歯科医師でない者の理事長選出認可基準の制定について、適当と認められた。 2 申請のあった医療法人の設立について、全て承認された。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県公衆衛生審議会予防接種部会
2 開催年月日	令和4年2月17日
3 委員	部会長 駒田 幹彦 委員 坂倉 健二 他7名
4 諮問事項	1 予防接種の実施状況等について 2 令和4年度予防接種センター事業の委託先選定について
5 調査審議結果	1 予防接種の実施状況及び予防接種センター活動について書面により報告し協議を行った。 2 予防接種センター事業の委託先選定について書面により説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県看護職員確保対策検討会
2 開催年月日	令和4年2月18日
3 委員	会長 堀 浩樹 副会長 菱沼 典子 委員 小西 博 他12名
4 諮問事項	1 今後の看護職員新規養成者の確保について 2 訪問看護師の育成について
5 調査審議結果	今後の看護職員新規養成者の確保、訪問看護師の育成について、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会
2 開催年月日	令和4年2月18日
3 委員	会長 齋藤 洋一 委員 上田 宏晃 他17名
4 諮問事項	1 自殺の現状について 2 第3次三重県自殺対策行動計画の進捗状況について 3 次期三重県自殺対策行動計画の策定について
5 調査審議結果	上記の事項について報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会救急医療部会
2 開催年月日	令和4年2月22日
3 委員	部会長 橋上 裕 委員 田中 孝幸 他10名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画における救急医療対策の進捗状況について 2 高度救命救急センターについて
5 調査審議結果	1 第7次三重県医療計画評価表（救急医療対策）について審議を行い、承認を得た。 2 三重大学への高度救命救急センター設置について審議を行い、整備を進めていくこととなった
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県小児医療懇話会
2 開催年月日	令和4年2月25日
3 委員	座長 平山 雅浩 委員 野村 豊樹 他9名
4 諮問事項	第7次三重県医療計画における小児救急を含む小児医療対策の進捗状況について
5 調査審議結果	第7次三重県医療計画評価表（小児救急を含む小児医療対策）について説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会周産期医療部会
2 開催年月日	令和4年2月28日
3 委員	部会長 池田 智明 委員 二井 栄 他15名
4 諮問事項	第7次三重県医療計画における周産期医療対策の進捗状況について
5 調査審議結果	第7次三重県医療計画評価表（周産期医療対策）について審議を行い、承認を得た。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会災害医療対策部会
2 開催年月日	令和4年3月1日
3 委員	部会長 伊佐地 秀司 委員 橋上 裕 他11名
4 諮問事項	第7次三重県医療計画における災害医療対策の進捗状況について
5 調査審議結果	第7次三重県医療計画評価表（災害医療対策）について審議を行い、承認を得た。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県公衆衛生審議会三重県介護予防市町支援委員会
2 開催年月日	令和4年3月1日
3 委員	会長 馬岡 晋 副会長 伊藤 法彦 委員 眞砂 由利 他9名
4 諮問事項	1 令和3年度介護予防に係る市町の事業実施状況等について 2 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金（県分および市町分）の状況について
5 調査審議結果	1 令和3年度介護予防に係る市町の事業実施状況について説明し、協議を行った。 2 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県在宅医療推進懇話会
2 開催年月日	令和4年3月7日
3 委員	座長 志田 幸雄 委員 伊藤 卓也 他15名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画における在宅医療対策の進捗状況について 2 市町における在宅医療・介護連携の取組の進捗状況について 3 介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続計画（BCP）作成の手引きについて 4 在宅医療的ケア児のケアに関わる養育者と社会資源の現状および課題に係る調査について
5 調査審議結果	書面会議を開催し、議題について協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県精神保健福祉審議会
2 開催年月日	令和4年3月7日
3 委員	会長 齋藤 純一 委員 齋藤 洋一 他11名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画（精神医療関連分）進捗状況報告 2 三重県精神保健福祉審議会部会の検討状況報告 3 精神保健福祉施策の令和3年度取組状況および令和4年度取組計画 4 特例病床制度による精神病床の運用状況について（非公開）
5 調査審議結果	上記の事項について報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県准看護師試験委員会
2 開催年月日	令和4年3月8日
3 委員	委員長 他6名（合否判定に関わるため、委員氏名は非公開）
4 諮問事項	准看護師試験の不適切問題の確認と合格基準の審議を行い、合格者を決定した。
5 調査審議結果	不適切問題1問については正答を追加し、受験者172名のうち合格者167名を決定した。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県地域医療対策協議会
2 開催年月日	令和4年3月16日
3 委員	会長 伊藤 正明 副会長 竹田 寛 委員 伊佐地 秀司 他24名
4 諮問事項	1 公衆衛生医師の確保に係る医師修学資金貸与制度の改正について 2 三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラムの改訂について 3 地域枠制度の現状について 4 臨床研修募集定員の設定について 5 「第7次三重県医療計画」(へき地医療対策)に係る実績評価について 6 キャリア形成プログラム運用指針の改訂について 7 医師少数区域経験認定医師制度について 8 地域枠医師のキャリア支援(派遣調整)について
5 調査審議結果	公衆衛生医師の確保に係る医師修学資金貸与制度の改正、キャリア形成プログラム改訂案、臨床研修募集定員、第7次三重県医療計画の実績評価(へき地医療対策)、地域枠医師のキャリア支援(派遣調整)について説明を行い、承認を得た。 また、地域枠制度の現状について説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県公衆衛生審議会
2 開催年月日	令和4年3月16日
3 委員	会長 笠島 茂 委員 赤坂 知之 他15名
4 諮問事項	1 三重の健康づくり基本計画の評価指標の状況について 2 本年度の取組及び次年度の取組計画について 3 各部会報告
5 調査審議結果	上記の事項について報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	



1 審議会等の名称	三重県循環器病対策協議会
2 開催年月日	令和4年3月22日
3 委員	会長 伊藤 正明 委員 今井 寛 他17名
4 諮問事項	1 三重県循環器病対策推進計画（最終案）について 2 第7次三重県医療計画における脳卒中对策、心筋梗塞等の心血管疾患対策の進捗状況について 3 国における循環器病対策の概要について
5 調査審議結果	1 三重県循環器病対策推進計画（最終案）について協議を行った。 2 第7次三重県医療計画評価表に基づき、現状と課題、今後の取組方向について説明し、協議を行った。 3 国における循環器病対策の概要について共有を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県薬事審議会
2 開催年月日	令和4年3月22日
3 委員	会長 田中 亜紀子 副会長 西井 政彦 委員 清水 忠文 他9名
4 諮問事項	1 地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局の認定について 2 後発医薬品製造所等に対する監視体制の強化について
5 調査審議結果	1 地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局の認定に係る取組方針が承認された。 2 後発医薬品製造所等に対する監視体制の強化に係る取組方針が承認された。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会
2 開催年月日	令和4年3月28日
3 委員	会長 伊藤 正明 委員 大杉 和司 他9名
4 諮問事項	1 各部会の報告 2 第7次三重県医療計画の進捗状況について 3 地域医療構想の進捗状況について
5 調査審議結果	1 令和3年度における各部会の開催実績等の報告を行った。 2 5疾病・5事業及び在宅医療対策に係る目標の達成状況、取組等について説明し、意見交換を行った。 3 地域医療構想の進捗状況について報告を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県公衆衛生審議会感染症部会
2 開催年月日	令和4年3月28日
3 委員	部会長 菅 秀 委員 橋上 裕 他6名
4 諮問事項	感染症（新型コロナウイルス感染症以外）の発生動向について
5 調査審議結果	結核や腸管出血性大腸菌感染症等の発生状況について書面により報告し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県新型コロナウイルス感染症対策協議会
2 開催年月日	令和4年4月19日
3 委員	議長 馬岡 晋 委員 中村 康一 他14名
4 諮問事項	第6波をふまえた今後の療養体制（入院、宿泊療養、自宅療養）について 他
5 調査審議結果	新型コロナウイルス感染症への対応について、対策協議会にて報告し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県介護保険審査会
2 開催年月日	令和4年4月22日
3 委員	会長 志田 幸雄 会長代行 森 一恵 委員 高宮 友子 他11名
4 諮問事項	1 会長等の選任について 2 Web会議システムを利用した会議の出席について 3 介護保険審査会の運営状況について
5 調査審議結果	1 会長等の選任について協議を行った。 2 Web会議システムを利用した会議の出席について、協議を行った。 3 介護保険審査会の運営状況について、報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	